



## 「JALスポーツアンバサダー」誕生

～障がい者・健常者スポーツを盛り上げ、アクセシビリティ向上を強力に推進～

2016年4月12日  
第16008号

JALグループは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「東京2020大会」)を控えるなか、JALグループ社員による「JALスポーツアンバサダー」(以下、「アンバサダー」)により、スポーツ全体を応援し、盛り上げるとともに、アクセシビリティ(\*)向上を推進していきます。

JALは、1964年オリンピック東京大会以降、航空輸送事業を通じてオリンピック・パラリンピック関係者をサポートしてまいりました。そのなかで、障がい者スポーツの支援に関しては、2005年に日本パラリンピック委員会(JPC)の唯一のオフィシャルエアラインとして、また、日本障がい者スポーツ協会(JPSA)の最初のオフィシャルパートナーとして、障がいのある方へのサービス向上のみならず、さまざまな取組を継続しています。

今後も、これまで培ってきた知見や経験をもとに、取組をさらに強化し、JALグループ全社をあげて東京2020大会開催の気運を高めつつ、ダイバーシティへの理解を促すために、以下の活動を行ってまいります。

(\*)健常者のみならず、車椅子を利用される方、高齢者、妊婦など全ての人にとって利用しやすい配慮のされた施設・サービスの度合いのこと

### **障がい者スポーツ競技会場をたくさんの観客で満員にする**

競技会場を観客で満員にするべく、障がい者スポーツを積極的に支援し、競技の認知を高めるためのJALグループがもつ媒体を使った取組などを行います。また、アンバサダーを中心に、JALグループ社員が競技会場に足を運び、競技を積極的に応援します。

### **アクセシビリティ・障がいのある方へのサービスの向上を図る**

競技体験イベントなどへ積極的に参加して障がい者アスリートとの交流を行います。また、アンバサダーが、JALグループと選手との関係の窓口機能を担うことで、選手の抱える悩みやさまざまなニーズを引き出し、それを実行することにより知見やノウハウを蓄積します。その内容をJALグループ内や、必要に応じて関係機関などに共有・フィードバックすることで、障害のある方へのサポート強化や、さらなるアクセシビリティの向上に積極的に取組みます。

以上